

# カトリック仙台司教区

## 東日本大震災救援・復興活動ニュースレター

第2号 2011年5月31日

〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-12

カトリック仙台司教区事務局

Tel.022-222-7371 Fax022-222-7378

発行人：平賀徹夫 編集：小松史朗

義援金振替口座：02260-9-2305

名義：カトリック仙台司教区本部事務局

### 未曾有の自然災害、そして原発事故、あのとき

#### 3月11日(金)14時46分、M9.0の大地震と津波が発生

死者13,000人余、行方不明者15,000人余、避難所の避難者13万人、家屋や財産を失った被災者100万人余であったことが後日判明するも現場はニュースも情報も入らず混乱の極みとなる。信徒や教会、カトリック事業体の安否確認や被害状況が確認できない。この日、仙台市内のカテドラルではいくつかの会議が開かれていた。翌日亡くなられるアンドレ・ラシャペール神父(塩釜教会主任)は雪が降りしきる中教会へ戻ろうとした。被災地では多くの悲劇が起こっていたことが後日判明。福島第1原発の津波による甚大な被害と放射能汚染へいたる一連の報道が開始されるが被災地ではニュースや新聞に触れることもできない地域が多かった。北仙台教会ではすぐに被災者への炊き出しを始め、3月一杯継続した。

#### 3月14日(月)

仙台市内は電話が少しずつ通じ始め、断片的に被害状況が分かり始めるが、三陸地方の町が根こそぎ津波の被害に遭い、ライフラインが完全になくなり連絡がとれる状態ではなかったことが後に判明。



↑仙台市元寺小路教会の2階にサポートセンターの事務所があります。スタッフとして仙台教区の信徒、全国からの支援者が多数働いてくださっています



↑石巻市の避難所の様子です。避難所それぞれ状況が違っており、当初は行政も混乱し物資が十分でないところもありました



↑最初のベースとなった塩釜教会の前で、スタッフとボランティアさんたち



↑石巻ベースのボランティアたちが支援している個人宅の片付け風景



↑釜石ベースの立ち上げ時には東京真生会館の若者たちが支援してくれました



↑シスターズリレーの説明会。ベースの運営に必要な人材を送り続けてくれる。シスターがいるだけでホッとすると多くのボランティアが評価してくれている

### 救援活動はこうして始まった

#### 3月16日(水)仙台教区サポートセンター開設準備会議が開かれる

- ・仙台教区長;平賀徹夫司教、カリタスジャパン責任司教:菊地功司教、さいたま教区長;谷大二司教、仙台教区事務局長;小松史朗神父、カリタスジャパン援助部会秘書:成井大介神父、カリタスジャパン事務局:稲江佐和子さんが参加。
- ・「仙台教区サポートセンター」立ち上げを決定。  
センター長 平賀徹夫司教  
センター長補佐 小松史朗神父  
事務局長 成井大介神父
- ・活動期間:2011年3月16日~9月15日を当初の目処とする

#### 3月17日(木)仙台教区サポートセンターの活動が始まる

- 当初の活動の柱は以下の3つであった。
- ・全国からボランティアを募集し、被災地に派遣。ボランティアの宿泊の支援を開始
  - ・被災者のための一時避難施設の確保
  - ・食料品、衣類、燃料等必要な物資提供

#### 3月21日(月) 塩釜ベースを開設し、救援活動を開始する

#### 3月24日(木) 石巻ベースを開設し、救援活動を開始する

#### 3月27日(日)「カリタスジャパンプログ」開設し、活動状況を伝え始める

#### 4月2日(土) 釜石ベースを開設し、救援活動を開始する

#### 4月7日(木)23時32分、M7.4、宮城県沖地震(余震)

再び被害が拡大し、復旧しつつあった水道が再び断水し、停電する

#### 4月9日(土)「シスターズリレー」がスタートする

- ・サポートセンターでのボランティア登録者数 307名
- ・活動に従事したボランティア数 227名

#### 4月10日(日)ローマ教皇庁大使・アルベルト・ポッターリ・デ・カステッロ大司教被災地慰問のため、仙台訪問

元寺小路教会は、天井落下で危険性があるため、野外ミサ。その後、塩釜ベース訪問。



↑カリタスジャパンのFr成井が教皇大使、池長大司教に状況説明をする



↑サレジオ会神学生たちがボランティアとしてきてくれました。



←福岡教区司祭団がボランティアとして参加されました。

ボランティアさんは、遠くは九州から参加して下さる方も、とても全てを伝えきれません。ボランティアの方々、ほんとうにどうもありがとうございます！

### 震災後1ヶ月が経過するも

#### 4月12日(火) 札幌教区が岩手県宮古ベースの活動を開始する

#### 4月16日(土)

- ・サポートセンターでのボランティア登録者数 411名となる
- ・活動に従事したボランティア数 305名となる
- ・一時避難施設の提供申し出は、40件もあったが利用実績は、1件に留まる。やはり地元に残りたいという希望がある。

#### 4月18日(月)

- ・サポートセンターでのボランティア登録者数 500名を超える。

#### 4月22日(金)

- ・サポートセンターでのボランティア登録者数 656名
- ・活動に従事したボランティア数 478名

#### 4月24日(日)

- ・東京大司教区、カトリック東京ボランティアセンター(CTVC)設置。センター長は幸田和生司教
- ・大阪大司教区、「仙台教区サポートセンター後方支援室:ENGO(えんご)プロジェクト」設置
- ・塩釜ベースで、七ヶ浜地区での活動開始
- ・石巻ベース、新しい宿泊場所を確保(石巻新ベース)
- ・釜石ベース、心のケア(傾聴ボランティア)活動開始
- ・南三陸町での物資提供活動開始
- ・救援物資管理を、仙台市内の一本杉教会に依頼